

銭湯に対するF1層女性の本音を大調査！

MUSEE MARKETING News Letter ～ 特別編 ～

**やっぱり女子はお風呂好き！？銭湯経験のある女性は9割以上！
4人に1人が月1回以上利用の“銭湯女子”であることが判明！
行きたい時間は朝6～8時が3割と“朝銭湯派女子”も多く存在**

本格的な冬の到来が近づき、温かいお風呂が恋しい季節となりました。F1層のマーケティングに特化したミュゼマーケティングが、高齢者や男性が多いイメージのある銭湯について、若い女性はどう思っているのか、1都3県在住の20～30代女性600名を対象に「女性の銭湯事情」を調査しました。

<トピックス>

～銭湯編～

■ 実は9割以上の女性が銭湯に「行ったことがある」と回答

さらに4人に1人が月1回以上利用の“銭湯女子”であることが判明！

■ 銭湯に対するポジティブなイメージ、「お風呂が広い」が約半数

■ 銭湯に“行きたくない”理由

1位「わざわざ外でお風呂に入るのが面倒」「情報が少なくクローズな空間」

温泉に行くけれど銭湯には行かない理由、「温泉に行く＝旅行だから」が半数以上

■ 銭湯に行くきっかけ、約半数が「お風呂がきれい」と回答

■ 女性が銭湯に求めるものは「美容サービス」

■ 女性が欲しいアメニティランキング 1位は「おしゃれなシャンプー・リンス」

■ 女性が銭湯に求めるものは「美容」と「癒やし」

■ 行ってみたいと思う女性向けイベント

1位「アロマテラピー銭湯」2位「暗闇銭湯で天体観測」3位「銭湯で映画鑑賞」

■ 行きたい時間は朝6～8時が3割と“朝銭湯派女子”も多く存在

【本件に関するお問い合わせ先】

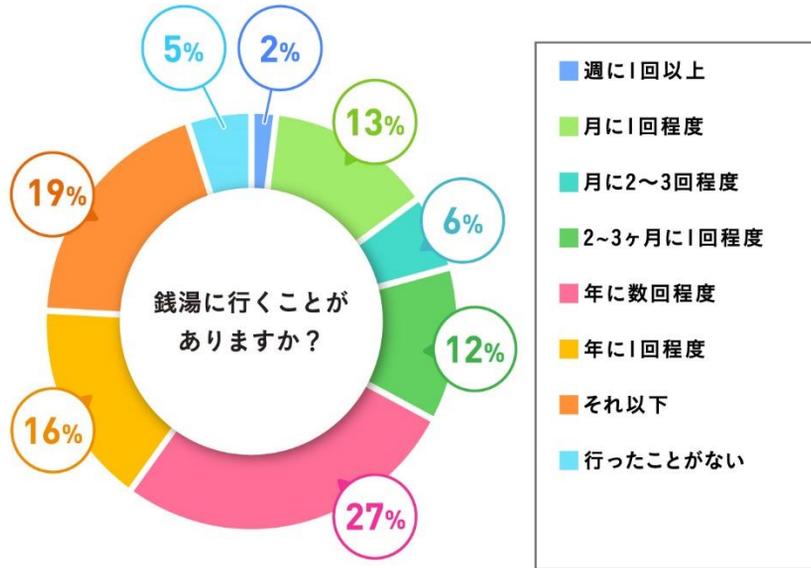
(株)ミュゼプラチナム 広報・PR担当 柳沼・渡辺
TEL : 03-3486-2097 FAX : 03-3486-2081

■ 実は9割以上の女性が銭湯に「行ったことがある」と回答

さらに4人に1人が月1回以上利用の“銭湯女子”であることが判明！

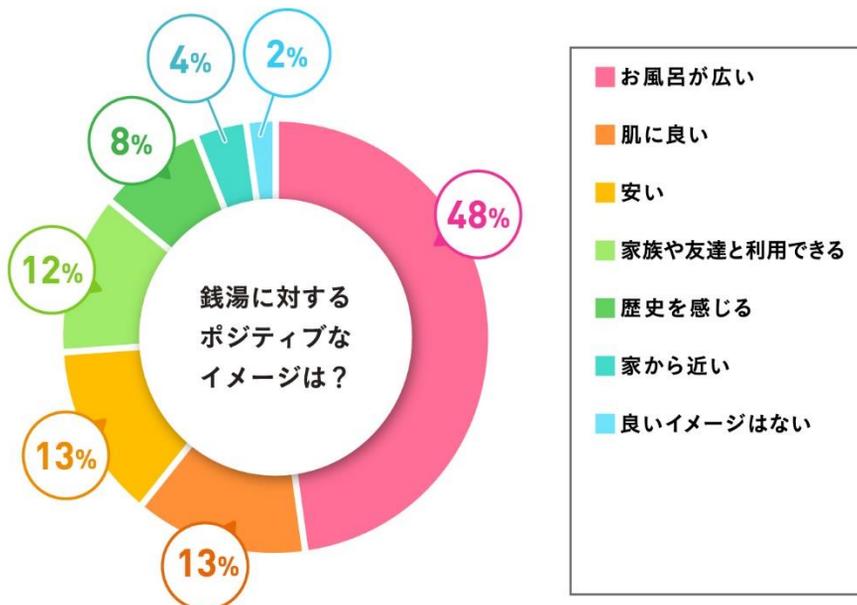
高齢者や男性が多いというイメージが強く、若い女性が通うイメージがあまりない銭湯。

1都3県在住の20～30代女性に「銭湯に行くことがあるか」を調査したところ、なんと94.8%とほとんどの女性が「行ったことがある」と回答しました。さらに「月1回以上」と回答した人は4人に1人存在し、意外にも“銭湯女子”が多く存在していることがわかりました。



■ 銭湯に対するポジティブなイメージ、「お風呂が広い」が約半数

次に、「銭湯」に対するポジティブなイメージを聞いてみたところ、全体の約半数が「お風呂が広い」という良いイメージを持っており、「良いイメージはない」と回答した人はわずか1.8%と非常に少ないことがわかりました。



■ 銭湯に“行きたくない”理由

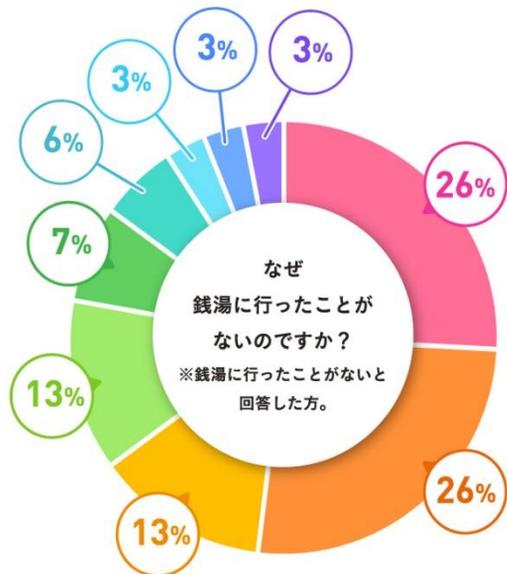
1位「わざわざ外でお風呂に入るのが面倒」「情報が少なくクローズな空間」

温泉に行くけれど銭湯には行かない理由、「温泉に行く＝旅行だから」が半数以上

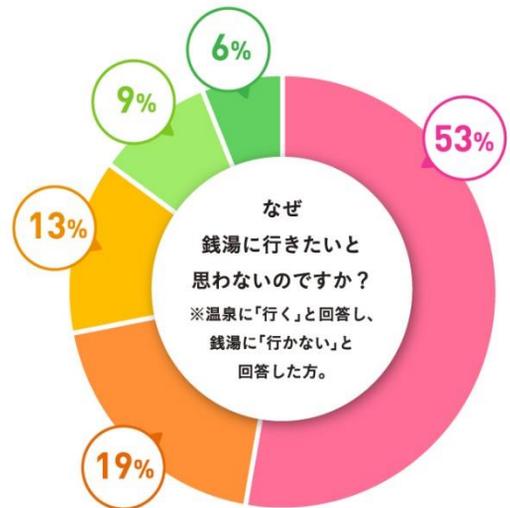
ほとんどの女性が「行ったことがある」と回答した銭湯ですが、「行ったことがない」人は銭湯にどのようなイメージを持っているのでしょうか。銭湯に「行ったことがない」と回答した人に、なぜ銭湯に行ったことがないのかを聞いてみたところ、「わざわざ外でお風呂に入るのが面倒」「情報が少なくクローズな空間」と回答した人が最も多いという結果となりました。

また、「温泉」には行くけれども「銭湯」には行かないと回答した人に、なぜ銭湯に行きたいとは思わないのか聞いてみたところ、半数以上が「温泉＝旅行だから」と回答し、ついで多かったのが「温泉のようにお湯の種類が豊富ではないから（18.8%）」その次は「アメニティが少ない（手ぶらで行けない）（12.5%）」でした。

昔とは異なり家にお風呂があることが当たり前になった今、外でお風呂に入るシーンといえば旅行時の温泉というイメージが強くなり、銭湯がいつどのようなシーンで利用するものなのかイメージがつかない女性が多くなるようです。



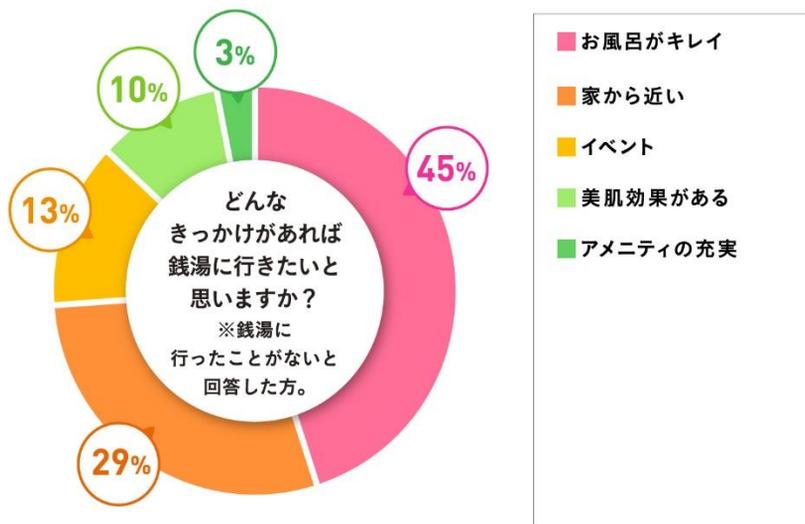
- わざわざ外でお風呂に入るのが面倒
- 情報が少なくクローズな空間
- 持ちよく入れない
- 若者が行くイメージがない
- ただのお湯だから、家に入るのと変わらない
- 時間がない
- 温泉じゃないから
- 一昔前の施設だから
- 自分には合わない



- 温泉に行く＝旅行だから
- 温泉のようにお湯の種類が豊富ではない
- アメニティが少ない
- 汚い
- ただのお湯（温泉は美容に良い湯）

■ 銭湯に行くきっかけ、約半数が「お風呂がきれい」と回答

銭湯に行ったことがないと回答した方に、どんなきっかけがあれば、銭湯に行きたいと思うかを調査したところ約半数が「お風呂がきれい（45.2%）」と回答しました。ついで「家から近い（29.0%）」「イベントがある（12.9%）」という結果となり、清潔さのほか利便性やエンターテインメント性も、行きたいと思うきっかけのひとつであることがわかりました。



■ 女性が欲しいアメニティランキング 1位は「おしゃれなシャンプー・リンス」

温泉には行くけれども銭湯には行かない理由、3位にもランクインしたアメニティに関して、どのようなアメニティがあれば良いと思うかを調査したところ1位は「おしゃれなシャンプー・リンス（32.7%）」2位は「化粧品サンプル（17.5%）」3位は「ドライヤー（12.8%）」という結果となりました。

Q どのようなアメニティがあれば銭湯に行きたいと思いますか？



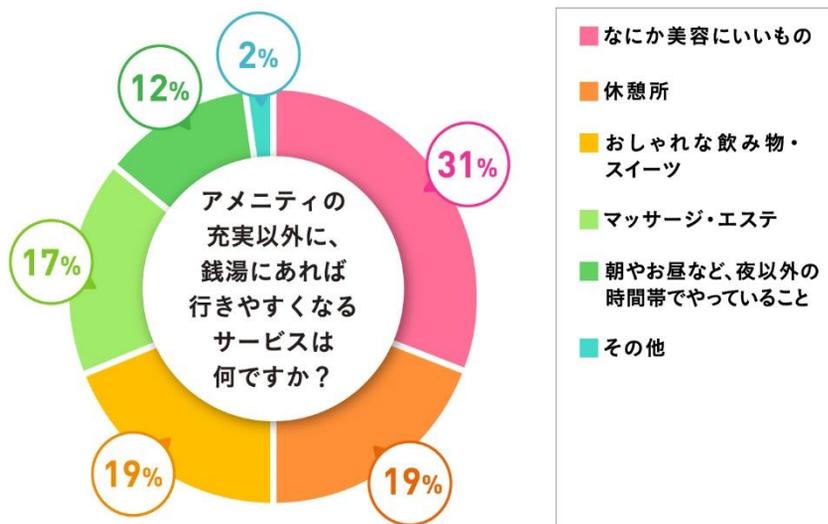
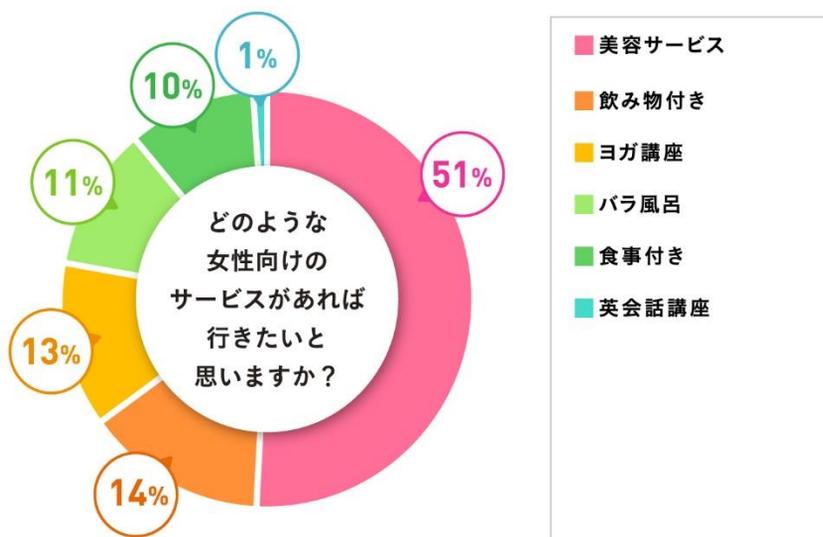
■ 女性が銭湯に求めるものは「美容」と「癒やし」

銭湯に女性がもっと気軽に来てもらえるようになるため、どのような女性向けサービスがあれば行きたいと思うかを調査したところ、約半数以上の女性が「美容サービス」と回答。

女性はお風呂に美容の付加価値を求めていることがわかりました。

また、アメニティの充実以外に、銭湯にあれば行きやすくなるサービスも調査したところ、こちらも「なにか美容にいいもの」と回答した人が31.5%と最も多いという結果となりました。

「休憩所」「おしゃれな飲み物・スイーツ」「マッサージ」という回答も多く見られ、女性は銭湯に「美容」と「癒やし」を求めていることがわかりました。



■ 行ってみたいと思う女性向けイベント

1位「アロマテラピー銭湯」2位「暗闇銭湯で天体観測」3位「銭湯で映画鑑賞」

銭湯に行ったことがない人が行きたくなるきっかけ、3位にランクインした「イベント」について、どのようなイベントがあれば行ってみたいと思うのかを調査。その結果、圧倒的な指示を受けたのは「アロマテラピー風呂」で、全体の約4割を占めました。つづいて「暗闇銭湯で天体観測」、「銭湯で映画鑑賞」となりました。

女性は銭湯に「癒やし」を求めていることが裏付けられるほか、天体観測や映画鑑賞が上位にあがったことから“お風呂ではゆっくりしたい”という心理もうかがえる結果となりました。

Q どのような女性向けのイベントがあれば行きたいと思いますか？

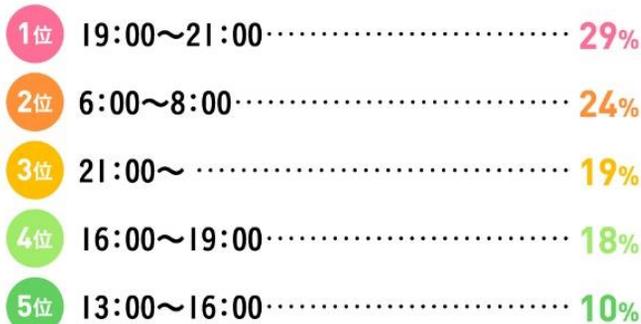


■ 行きたい時間は朝6～8時が3割と“朝銭湯派女子”も多く存在

銭湯に行きたい（行ってみたい）時間を調査したところ、ほとんどの女性が「19：00～21：00（28.7%）」「21：00～（19.0%）」と回答しましたが、24.2%の女性は「6：00～8：00」と回答。夜に入ることが多いお風呂ですが、意外にも朝にも多くの需要があることがわかり、「朝銭湯派女性」が約3割存在していることがわかりました。

意外にも“朝”の需要が高い銭湯。朝手ぶらで行ってそのまま次の予定に行きたいという気持ちから、「おしゃれなシャンプー・リンス」や「化粧品サンプル」などのアメニティの重要性が高いのかもしれない。

Q 銭湯に行きたい（行ってみたい）と思う時間帯は？



■ 老舗銭湯「日の出湯」さんの店主、田村さんより、運営者としてのコメント

江戸の終わりから明治の初めごろに創業した老舗銭湯「日の出湯」さんに、今回の調査結果をうけて、運営者視点でのコメントをいただきました。

なかなか街の銭湯でこの規模感の調査はできないので、ものすごく参考になりました。
また、実際にここに焦点をしばって、改装、改築、イベント、アメニティの充実化などをする事で、いままで利用頻度の少ない世代に、アプローチできることがわかりました。
特に「若い女性が、銭湯に対してポジティブなイメージを持っている人が多い。」
これがわかったことが大いに励みになりました。
癒やしや美容要素を取り込んでいくことによって、まだまだ業界の活性化を図れることがわかり、今後も今回アンケートをとった女性層に、銭湯を活用していただけるよう邁進していきたいと思えます。



【日の出湯】について

詳細な記録はないのですが、日の出湯の創業は江戸の終わりから明治の初めと言われており、運よく戦火から逃れることができ、2000年に現在のビル型の銭湯へと建て替えました。
「日の出湯」はスーパー銭湯やスパ等ではなく、昔からある地域に根ざした一般公衆浴場で、地域の方に愛され、現在まで営業を続けることができています。

日の出湯 (<https://hinodeyu.com/>)

住所：〒111-0041 東京都台東区元浅草2-10-5

電話番号：03-3841-0969

(お問い合わせは営業時間内 [15:00~23:40] までをお願いいたします。)

入浴料金：大人(中学生から) 460円 / 中人(小学生) 180円 / 小人(未就学児) 80円

営業時間：15:00~24:00 ※最終受付 23:40

定休日：毎週水曜日

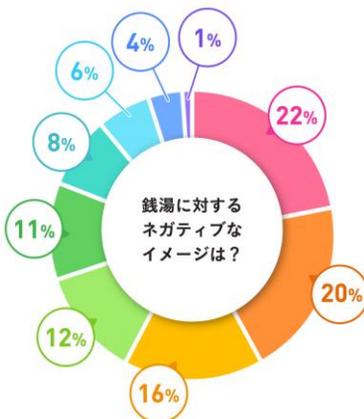
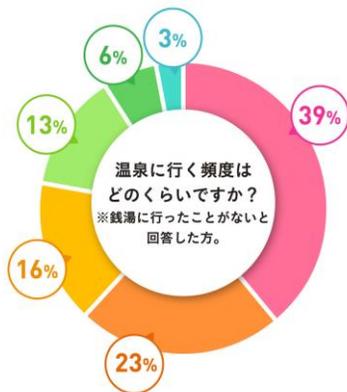
レンタルセット：バスタオル・リンスインシャンプー・ボディソープ 150円

露天岩風呂：男湯と女湯が1週間ごとに替わります

★古代檜の浴槽、炭酸シャワーのご用意もございます。



データ一覧 ～銭湯編～



Q お風呂上がりの飲み物、あったらいいと思うものは何ですか？



Q 銭湯に足りない要素は何だと思いますか？



【調査概要：銭湯編】

- 調査日 : 2018年11月7日(水) ～ 2018年11月18日(日)
- 調査方法 : インターネット調査
- 調査人数 : 600名
- 調査対象 : 1都3県在住 20～39歳の女性

※本リリースの調査結果・グラフをご利用いただく際は、必ず【ミューゼマーケティング調べ】とご明記ください。

『ミュゼマーケティング』について

美容意識の高い女性を中心とした会員層を有し、自社デジタルメディアと全国175(※)店舗のサロンによるクロスメディアアプローチが特徴のメディアサービスです。店頭サンプリング、商品モニター、リサーチ、デジタル広告やメールマガジンによるサービス告知などを提供しています。

F1層をコアとした全国342万人以上(※)の会員さまへ向け、自社サービスの認知拡大、継続的な収益モデルを検討したい企業様は、ミュゼマーケティングへお問い合わせください。

▶サービスの詳細・資料ダウンロードはこちら：<https://musee-marketing.com/>

MUSÉE
MARKETING

美容脱毛サロン『ミュゼプラチナム』について

“全ての女性のキレイをお手伝いしたい”との想いを込め、2003年に誕生した、高品質の美容脱毛専門サロン。多くの女性の支持を受け、現在では全国に175(※)店舗を展開中。

▶ミュゼプラチナム ホームページ：<https://musee-pla.com/>

(※) 2018年11月末日時点

MUSÉE
PLATINUM
ミュゼプラチナム

【本件に関するお問い合わせ先】

(株) ミュゼプラチナム 広報・PR担当 柳沼・渡辺
TEL : 03-3486-2097 FAX : 03-3486-2081